

犬田布岬

徳之島の最西端に位置するこの岬では、島の西海岸の自然地形を一望できます。東シナ海に突き出しているこの傾斜した台地は、隆起サンゴ礁からなる石灰岩でできています。この岩盤の端は、風と波の力によって岩が削り取られて断崖絶壁となっています。この岬はパノラマの夕景で知られています。

戦艦大和艦隊戦士慰霊塔

岬の一番端にある目を引く建造物は、第二次世界大戦中で使われた有名な戦艦「大和」の記念碑です。1940年に進水したこの戦艦は、それまでに建造された中で最大となる2隻の戦艦のうちの1隻で、全長260メートル、全幅約40メートル、総重量は驚異の72,000トンという大きさでした。(アニメファンなら、この戦艦が、人気を博したテレビ・映画シリーズ『宇宙戦艦ヤマト』に影響を与えたことにピンとくるでしょう。)

悲劇的な最期

大和は1945年4月7日、米軍機によって撃沈され、3,000人以上の船員が犠牲となりました。艦の最後の無線通信に徳之島が言及されていたことから、当初は多くの人が、大和はこの場所の近くで沈没したと考えていました。祈りを捧げて合掌している両手を模してデザインされた記念碑は、戦艦沈没の犠牲者を追悼するために1968年4月に建立されました。記念碑の高さは、この有名な戦艦の艦橋の高さと同じ24メートルです。現在では、大和はこの場所から遠く離れた九州の沖合で沈没したことが確認されていますが、伊仙町は亡くなった船員の子孫たちと共に、今でも毎年4月7日にここで慰霊式典を行い、戦没者に追悼を捧げています。